



花 知 臺 金 源 興 瑞
麋 市 川 芳 大 鼎

其番目
壬生集

市川三太郎
 大壺中村勝治郎
 壺盛人市川甚太郎

衡目見江

千歲中山一德
子室市川善太郎
翁中村金吾
三番叟市川重太郎

開江藥三

麵店
曲亭
主人
金鳳

朱卷山に梅ぞ和まゝへ出世の下郷非業此芥子園の
薄命清いもせれ小娘ふんわれぐゝかた若慮る
みものありうらんと我が名あゝ貧乏愚民まじりて
貞女の今様ふり正ふ是大相違ひくは温顔

威德

雲星三陽

帝根半七

白龍

進
自

慶豐

樂府

南

2

張

1

10

10

白川越に夕間暮やといふやな
白刃下をせぬ
多んい紀念に片撥親子のきづを
おきまといふ
美さるの石のまゝ合ひ
この髪むすぶ其世
念
夢びくは彦祖
まゝ是則監音
投節の起原
やうくり名はる
お氏巾
ふはる
一燈

太閤養生幕 繪入六冊

卷之十一